

塀の点検をしましょう

6月18日に発生した大阪北部地震では、ブロック塀の倒壊による死亡事故がありました。過去の地震でも、ブロック塀の倒壊により多くの死亡事故が起きています。また、倒壊した塀は道路を塞ぎ、避難や救助活動の妨げにもなります。

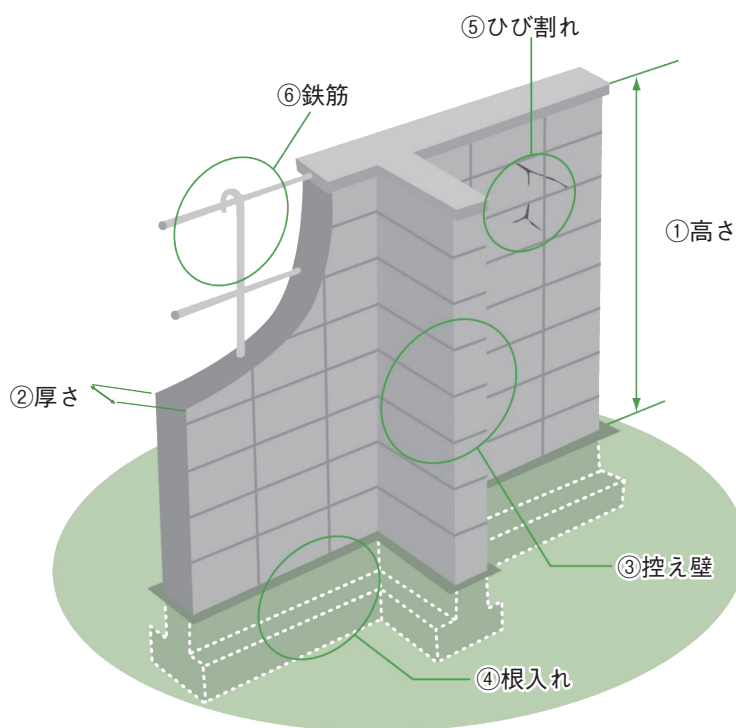
ブロック塀や組積造の塀については、建築基準法により

その構造が定められ、建築基準法に適合しない塀や、破損・老朽化した塀は、地震時に倒壊する恐れがあり、大変危険です。

所有するブロック塀を点検し、いつ発生するかわからない地震に備えてください。

塀の点検ポイント

次の項目を点検し、ひとつ



でも不適合があれば危険なので改善しましょう。

まず外観で①から⑤までを点検し、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、施工業者や建築士、ブロック塀診断士などの専門家に相談しましょう。

今回の点検後も、定期的に塀の傾きやひび割れがないか点検しましょう。

▼鉄筋のあるブロック塀の場合

①塀は高すぎないか

塀の高さは地盤から2・2メートル以下か

②塀の厚さは十分か

塀の厚さは10センチメートル以上（塀の高さが2メートル以上2・2メートル以下の場合）は15センチメートル以上か

③塀の高さが1・2メートル超の場合、控え壁はあるか

長さ3・4メートル以下ごとに、塀の高さの5分の1以上突出した控え壁があるか

④基礎があるか

コンクリートの基礎があるか

⑤塀は健全か

塀に傾き、ひび割れはないか

▼専門家に相談しましょう

⑥塀に鉄筋が入っているか
塀の中に直径9ミリメートル以上の鉄筋が、縦横とも80センチメートル間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか

塀の高さが1・2メートル超の場合、基礎の根入れ深さは30センチメートル以上か

▼組積造（れんが造、石造、鉄筋のないブロック造）の塀の場合

①塀の高さは地盤から1・2メートル以下か

②塀の厚さは十分か

③塀の長さ4メートル以下ごとに、塀の厚さの1・5倍以上突出した控え壁があるか

④基礎があるか

⑤塀に傾き、ひび割れはないか

▼専門家に相談しましょう

⑥基礎の根入れ深さは20センチメートル以上か

問い合わせは、建築指導課

または、安全安心課防災係（☎内線462）へ。

こんにちは！
市長です



7月8日から15日までの8日間、イタリア共和国ピエラ市を市長としては21年ぶりに訪問しました。昭和38年に織物が取り持つ縁で国際姉妹都市提携をし、今年で55年となります。

ピエラ市では、マルコ・カヴィッキオオリ市長をはじめ、商工会、教育関係者や市民の皆様から大変温かく歓迎していただくとともに、各界関係者と意見交換を行いました。

特に、高校生の交流派遣事業については、来年ピエラ市の高校生を迎え入れ、再来年は桐生市の高校生をピエラ市へ送ることを両市で確認しました。

今回の訪問により、両市の友好関係がより強固となり、両市の将来により影響をもたらすことを確信しました。今後も、訪問の成果を基に、ピエラ市との姉妹都市交流を一層推進していきます。